

平成29年5月1日付・山陰中央新報

八雲の功績思いはせ 講演やジャズ演奏

兵庫、米総領事公邸

在大阪・神戸米総領事の
のアレン・グリーンバーグ
夫妻が主催する記念パーテ
ィー「松江―ニューオーリ
ンズ・レセプション」がこ
のほど、兵庫県西宮市の総
領事公邸であった。松江ゆ
かりの小泉八雲が、米国ニ
ューオーリンズ市に在住し
たのにちなんで実現。八雲
のひ孫で小泉八雲記念館
の小泉凡館長をはじめ、総
領事夫妻と交遊のある関
係者35人が、ニューオー
リンズとの縁を取り持った
八雲の功績に思いをはせ
た。

幼少期をアイルランドで
過ごした八雲は、19歳で米
国に渡り、ニューオーリン
ズ市に在住。39歳で来日し
て松江に住んだ。

パーティーでは、ニュー

オーリンズ市と1994年
に姉妹都市提携を結んだ
松江市が、提携20周年を記
念し制作したビデオを上
映。小泉館長の記念講演
や、講師で絵師の川東丈



記念講演する小泉凡館長
(中央)

純氏一座の講演、ニューオ
ーリンズスタイルジャズの
ピアノ演奏などが披露され
た。



作製した教材を手にするラング・クリス准教授（右ら

島根題材に小冊子

県立大短期大部教授ら作る

例文に名所や文化

小学生向け英語教材

県立大短期大学部総合文化学科（松江市浜乃木7丁目）の教授らが、島根の観光地や伝統芸能を題材にした英語教材の冊子を作製した。2020年度実施の次期学習指導要領で小学校3、4年で外国語活動を始め、5、6年で教科化されるのに伴う取り組み。各市町村の教育委員会に配布し、地域に密着した身近な素材で子どもたちの英語力アップにつなげる。

（平井優香）

教材は「ABC's of SHIMANE」。同大のラング・クリス准教授が六道湖で笑っている（40）ら4人が、米国アラソカ州のアルファベット学習用教材を参考に作った。

松江城や三瓶山などの観光地をはじめ、石見神楽や松江の和菓子といった伝統芸能・文化を題材にした。

「Lions laugh
A4判カラーの32頁で、180部作製。補助教材として活用できるよう、米国の同大講師が発音のポイントを説明した動画をインターネットで配信する。

「Frogs fish
fly in
for fish」(カエルがトビウオを釣っている)などA-Zのアルファベット順に例文を紹介。理解を促すため、大きなイラストを盛り込んだ。

かるとやドリルの作製も検討している。クリス准教授は「子どもたちに島根の魅力をもっと知ってもらおうと同時に、英語教育の手助けになればうれしい」と活用の広がりに期待した。

16年度島根県立大 就職率95%上回る

浜田は「県内」低調23%
島根県立大は12日、2016年度卒業生のキャンパス別就職率をまとめた。3キャンパスともに95%を上回る高水準だったが、浜田キャンパスの県内就職率が23%と低いことから、清原正義学長は、県内企業のニーズに合った人材育成策に本年度から着手する方針を明らかにした。

ンパスの総合政策学部の就職率は前年度比1・1%減の98・0%。松江キャンパスは総合文化学科が同1・6%減の95・9%で、健康栄養、保育の両学科は前年度と同じ100%。出雲キャンパスの看護学部も前年度と同じ100%だった。

外出身者で、学生と企業のミスマッチなど複合的な要因があるとみている。12日の定例会見で清原学長は「浜田キャンパスの県内就職率を上げるのが課題だ」と述べ、自ら県内企業を回って求人ニーズを調べていることを明かした。その上で、「学生が授業以外で地域活動やボランティア体験に参加し、人間力を高めたい」と、企業ニーズに合わせた人材を育成するため課外活動に力を入れるとした。

(鎌田剛)

街角 トピックス

松江

◆県立大生、日本の遊
びで国際交流 県立大短期大学部松江キャンパス（松江市浜乃木7丁目）と米・南ユタ大の学生による交流会がこのほど同

キャンパスであり、両大の学生ら約20人が、けん玉やこま回しといった日本特有の遊びなどで親睦を深めた。写真。

交流会は相互の文化理解が狙い。県立大短期大学部のラング・クリス准教授(40)と、南ユタ大学のシヨーン・クリスチャンセン教育学部長(49)のつながりを縁に、2010年から毎年開いている。県立大の学生たちは、けん玉やこまの遊び方を



南ユタ大の学生に伝え、続いて和気あいあいとした雰囲気です。ドッジボール、バドミントンを楽しんだ。

志織さん(19)は「簡単な会話はできた。もっと英語を話せるようになりたい」と語った。

南ユタ大1年のウィルキー・シエルビーさん(23)は「音楽など共通の話題で盛り上がり、親近感が湧いた」と笑みを浮かべ、県立大短期大学部総合文化学科2年の田川